VACUUM2014—真空展開催

風岡 学^{*1,*2}

Japan Vacuum Show “VACUUM2014”

Manabu KAZAOKA^{*1,*2}

^{*1}The Japan Vacuum Industry Association, Japan Vacuum Show Committee, the Vice Chair, Onarimonyusen BLDG 13F, 3-23-5 Nishi-shinbashi, Minato-ku, Tokyo 105-0003, Japan

^{*2}Okazaki Manufacturing Company, 18-3 Koami-cho, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0016, Japan

(Received July 3, 2014, Accepted July 28, 2014)

10月15日（水）から10月17日（金）までの3日間、東京ビッグサイト東ホールにおいて、真空機器、真空装置の総合展である「VACUUM2014—真空展」を開催いたします。

2014年の真空展は、「2014洗浄総合展¹⁾」（主催：（公社）日本洗浄技能開発協会、日本産業洗浄協議会、日刊工業新聞社）、「Japan Robot Week 2014²⁾」（主催：日刊工業新聞社）、「モノづくりマッチング Japan 2014³⁾」（主催：日刊工業新聞社）と共同で開催することとなりました。

ご存知のとおり、真空技術は半導体、フラットパネル、電子部品分野をはじめ食品、医療、分析機器や新エネルギー分野など、多くの産業分野に関わる基盤技術です。毎年国内で開催される600件近い展示会の中で、「真空展」は、技術開発、製品製造、販売など真空に関わる企業、研究者が毎年多数来場する唯一の「真空技術専門の展示会」です。図1は昨年の展示会入場口の様子です。

今回は、「未来を支える洗浄技術」をテーマに最新の洗浄技術を紹介する洗浄総合展、サービスロボットやロボット関連技術を紹介する Japan Robot Week、さらに今回初めて共同開催の、「次世代製造技術に挑む」をテーマに、モノづくりの中でも注目度が高く、かつ専門性の高いテーマを絞り込んで紹介するモノづくりマッチング Japan が加わることで、今まで以上に新しい発見、多くの出会いが生まれる場となることが期待できます。これらの展示会に出展の各企業より、自慢の製品や最新の技術が出展されるものと思われます。今回で36回を迎える、歴史ある「真空展」をお見逃しのないよう是非ご来場くださいますようお願い申し上げます。

図2は昨年の展示会会場の様子です。

真空展は出展企業による展示だけでなく、併催事業に人気があるのも特長です。

「真空技術が生み出す未来」をテーマに、今年も例年通り多くのフォーラム・セミナーが展開されます。

今回は特別講演として、女性宇宙飛行士の山崎直子氏による講演会を企画し、10月15日（水）12：30～13：30、東京ビッグサイト東ホール内 特設会場において、定員：300名（聴講無料）で開催いたします。多くの方の来場をお待ちし

図1 展示会入場口の様子。

図2 展示会会場内。

ております。

その他の企画を日程順にご紹介します。会期中毎日、午前中に開催される「真空入門講座」は、これから真空産業に関わる方々を対象とした真空技術の基礎的な知識を得るための講座です。講座を受講し、基礎知識を得た上で真空展を見学する事ができるので、真空初心者にたいへん人気の講座です。また、真空技術者資格認定試験を目指す方にも最適な講座です。

10月15日（水）に会議棟606において開催の「真空トピックス」では、スパッタリングの最新技術に関する情報交換の場として新たな可能性を探ります。

^{*1} 日本真空工業会 展示会委員会 副委員長（〒105-0003 東京都港区西新橋 3-23-5 御成門郵船ビル13F）

^{*2} 株式会社岡崎製作所 東京技術部（〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町18-3）

10月16日（木）に東1ホールワークショップ会場Bにおいて開催の「真空シンポジウム」では、真空技術を科学の面から掘り下げ、新しい展望と展開を探ります。

10月17日（金）に会議棟605・606において開催の、「真空フォーラム」では、次世代自動車やスマートフォン等のIT機器で活用されているMEMSに焦点を当て、最新の技術動向や最終製品に、いかに活用されているかを講演頂く予定で、東京大学大学院 工学部、IRT 研究機構 機構長 下山教授による基調講演をはじめとし、MEMS 専門家の皆さまによる一般講演を企画中です。

これらのフォーラム・セミナー以外にも、真空技術に関する研究内容をポスター展示する「研究紹介コーナー」や真空に関わる学生を招いて展示会を案内する「学生ツアー」も好評です。

研究紹介コーナーは、大学・大学院・公的研究機関が真空技術に関わる研究内容をポスターで紹介するコーナーで、毎年多くの参加があります。

学生ツアーは、学内での研究や今後の就職活動に役立ててもらう事を目的に、大学生を中心とした学生に真空展を紹介する企画です。我々主催者が真空展会場を案内し、事前に受け入れを承諾いただいた各ブースでは、説明員が自社の自慢の製品について詳しく説明してくれる段取りになっています。

また展示会場内の主催者ゾーンのプレゼンスペースでは、主催者である日本真空学会、日本真空工業会の活動を紹介いたします。さらに、主催者企画テーマゾーンでは、フォーラムとの連携を想定し、MEMSを活用した製品（センサ等）や、パネルの展示を中心にゾーンの企画を進めており、製品展示については、関連製品メーカー数社へ交渉中。パネル展示についてはMEMS関連団体である「（一財）マイクロマシンセンター」の協力のもと準備を進めております。本テーマゾーンの企画や交渉は新たに立ち上げた「主催者ゾーン小委員会」を中心に行っております。

図3は昨年の真空実演の様子です。

さらに、同じプレゼンスペースの「真空体感コーナー」で

図3 テーマゾーンでの真空実演。

は昨年実施して大変好評だった真空実験を日本真空学会教育委員会のご協力のもと開催します。体感コーナーでプレゼンを行うのは、協力して戴ける大学の学生達です。ユーモアあふれる説明と実演が毎年好評です。

主催者といましては、「出展して良かった」、また「来場して良かった」真空展を目指して、真空展の質の向上を図り、魅力ある展示会となるよう努力してまいります。時代に合わせて変化を続ける「真空展」にご期待いただき、変化した「真空展」へ今年もご来場賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、真空展のホームページ⁴⁾に最新情報が掲載されますので、こちらをご参照ください。

〔文 献〕

- 1) <http://www.nikkan.co.jp/eve/senryo/> (Last accessed: 2014-07-29)
- 2) <http://www.nikkan.co.jp/eve/s-robot/> (Last accessed: 2014-07-29)
- 3) <http://www.nikkan.co.jp/eve/match/> (Last accessed: 2014-07-29)
- 4) <http://www.nikkan.co.jp/eve/vacuum/> (Last accessed: 2014-07-29)